

競 技 注 意 事 項

1 規 則

本大会は2019年（公財）日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって実施する。

2 練 習

- ・練習は補助競技場で行うものとする。補助競技場が使用できない場合、本競技場の一部を開放することもある。その場合、競技役員の指示に従うこと。 ※ 競技場周辺での練習は禁止します。
- ・跳躍競技・投てき競技の本競技場での練習は、競技開始40分前から行うものとする。ただし、棒高跳は、競技開始60分前から行うものとする。練習は競技役員の指示に従い、危険防止に努めること。

3 競 技 場

- ・本競技場は全天候舗装である。トラックの厚さは約13mmである。フィールドは約18mmである。走路の保全と競技者の安全のために、競技規則143条を参照されたい。
- ・競技場の開門時間は両日とも7時15分予定とする。

4 招 集

- ・招集所は、100mスタート付近に設ける。 ※但し、棒高跳の招集は競技場ピットで実施する。
- ・招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を欠場とみなし、出場を認めない。
- ・招集時刻は下記の通りである。
 - トラック種目・・・競技開始40分前から20分前まで（リレー種目は7を参照のこと。）
 - フィールド種目・・・競技開始70分前から40分前まで（棒高跳は90分前から60分前まで）
- ・招集要項
 - ①競技者は出場種目の招集完了時刻までに、招集所にてナンバーカードを付けたユニフォームを持参し競技者係にチェックを受ける。
 - ②競技者は競技開始10分前に、各競技場所でユニフォームを着用した状態で最終確認を受ける。
 - ③代理人による最終確認は認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、その旨を本人又は代理人が競技者係に申し出て了解を得ること。

5 ナンバーカード

- ・ナンバーカード（横浜陸協指定）は、2枚をユニフォームの胸部と背部につける。ただし跳躍種目は、1枚を胸部または背部のみに付けるだけでもよい。主催者が配付した状態で使用し、切ったり折ったりしないこと。
- ・本大会申込時にナンバーカードを購入依頼した競技者は、本部まで取りに来ること。
 - ※トラック種目に出場する競技者は、招集所で腰ナンバーカードを受け取り、右腰後方につける。競技終了後、係に返却する。
 - ※3000m、5000mについては、招集所で特別ナンバーカードを受け取り、ユニフォームの胸部と背部につける。その際、正規ナンバーカードを必ず持参のこと。競技終了後、係に返却する。
- ・男子5000m、女子3000mでは、招集所でトランスポンダー用のチップ付き腰ナンバーカードを受け取り、左腰につけること。競技終了後、係に返却する。

6 トラック競技について

- ・トラック種目では、すべて写真判定装置を使用する。
- ・スタート時の不適切行為に関しては、審判長によって警告（イエローカード）を与えられることがある。本大会では、同一レースのイエローカード2枚で当該レースのみ失格（レッドカード）とする。競技会からの除外はしない。
- ・3000m、5000m、および中学男女800mは段差スタートとする。

7 リレー競技について

- ・リレー競技に出場するチームは、リレーオーダー用紙を作成し、競技開始1時間前までに招集所に提出する。（リレーオーダー用紙は招集所で配付）
- ・4×100mRでは1人1ヶ所に限りマーカースを使用することができる。
 - ※2018年から4×100mRのバトンゾーンは30m。

8 フィールド競技について

- ・走幅跳・三段跳において、A・Cピットはトラック側、B・Dピットはスタンド側とする。
- ・フィールド競技の計測ライン及びバーの上げ方は、各審判主任の指示によるものとする。

9 用 具

- ・競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、棒高跳用ポール・砲丸・円盤・やりについては、検査を受け承認されたものに限り、個人所有のものを競技者全員が使用できる。（検査は、各種目競技開始1時間前までに用器具庫前で行う。）

10 抗 議

競技規則146条に従いおこなうこと。

11 そ の 他

- ・参加中学校・高校の顧問は、必ず競技役員または補助役員として、競技会運営に協力すること（下記「☆学校受付について」を確認すること）。
- ・ナンバーカード（横浜陸協指定）を紛失または忘れた競技者は、本部にて新しいナンバーカード（200円）を購入し使用すること。個人で作成したものは使用できない。
- ・競技会で発生した傷害については主催者側で応急処置をする。以後の治療等は各自の責任で受けること。保険加入等、各自事故防止対策を行い競技会に参加すること。
- ・プログラムの訂正は、申し込み責任者が本部総務まですみやかに申し出る。
- ・競技終了後、ゴミは各自持ち帰る。
- ・本競技場スタンドでのテントの張り出しは禁止する。
- ・メインスタンドでの部旗、横断幕等の張り出しは禁止する。
- ・競技運営に支障をきたす応援はつつむ。（特にフィールド競技中のグループ応援等）また、競技場内での付添い及び応援は禁止する。
- ・更衣室は更衣のみに使用し、シート等を敷いての占有を禁止する。
- ・貴重品は各自で管理し、盗難・紛失には十分注意する。
- ・本部室の裏側通路の占有は、通行の妨げになるので禁止する。
- ・競技場外にテントシート等で占有スペースを設置しないこと。

☆学校受付について

- ・各参加校の引率顧問の先生は大会当日7：10～7：30の間に本部審判受付にて学校受付を行ってください。その際、競技役員または補助役員として協力いただく先生のお名前を申し出ていただきます。担当の係については当日に指示があります。
- ※顧問引率のない場合は、中体連・高体連試合参加規程の通り、出場は認めません。（クラブチームの場合は、この限りではない。）

☆安全対策について

- ・競技会に参加の競技役員、競技者、補助員以外はトラック、フィールドに立ち入らない。
- ・本競技場、補助競技場では決められたレーンを守り常に安全確認を怠らない。（※本競技場においては、1、2、3レーンを周回練習に使用し、5、6、7、8レーンを流し等で使用する予定。状況によっては、変更の指示がある。）
- ・周囲の安全を確認し、競技役員の指示に従い事故防止に努めること。
- ・トラック、フィールドともに横断する際には周囲の安全確認を行う。
- ・ウォーミングアップの際、事故防止のために必要な声の掛け合いを行う。
- ・投てき物を持った状態での空ターンや助走練習は、公式練習以外では行わない。
- ・投てき物（やり等）の回収の際も周囲の安全に十分に配慮すること。
- ・チューブ等を使用しての練習は安全面から禁止とする。
- ・跳躍競技での「後追い助走」は危険防止のため禁止とする。